# 特集 神奈川 319号

## ㈳神奈川県計量協会第19回通常総会開催

### 6月18日、ホテルキャメロットジャパン・ジュビリーⅡで

㈳神奈川県計量協会は、2004年6月18日㈮午後2時から、JR横浜駅西口「ホテルキャメロットジャパン・ジュビリーⅡ」で、第19回通常総会を開催する。

平成15年度の事業報告、収支決算報告及び会計監査報告、定款変更、郵政公社計量管理業務受託事業に伴う平成16年度事業計画変更（案）及び同特別会計予算（案）、功労者表彰、新理事選任等の案件について審議。第二部として懇親会（会費8千円）を開催する。

## 平成16年度第一回理事会の開催

㈳神奈川県計量協会は、2004年5月27日㈭午後2時から、神奈川計量検定所会議室で平成16年度第一回理事会を開催する。会員の入退会の承認、定款変更、郵政公社計量管理業務受託事業に伴う平成16年度事業計画変更（案）及び特別会計予算(案)、新理事選任、功労者表彰、第19回通常総会の付議事案の審議（平成15年度事業報告及び収支決算報告等）について協議する。

## 神奈川県計量士(部)会通常総会の開催

神奈川県計量士（部）会は、04年5月18日㈫午後2時から、エルパイネ（横浜市老松会館）で平成16年度通常総会を開催する。平成15年度事務事業報告、収支決算報告及び会計監査報告、平成16年度事業計画（案）、平成16年度収支予算（案）、会則変更等などの審議予定。なお、第二部として記念講演会「地球環境と太陽光発電について」（鈴木一夫氏）も併せて開催。

## ㈳神奈川県計量協会

諸事業などのお知らせは、同協会のHPでもご覧出来ます。

URL:http://www11.ocn.ne.jp/~keiryo-k/

## 開港祭に計量の広場を開設

### 5月29日・30日・6月2日、臨海パークで

㈳神奈川県計量協会と横浜市は共催で、2004年5月29日㈯、30日㈰、6月2日㈬の三日間、臨海パークで開催予定の第23回横浜開港祭に計量の広場を開設する。

計量の広場の開設は、今年で9回目を迎える。このための実行委員会を04年5月17日㈪午後2時、検定所会議室で開催。

昨年の計量の広場のようす

## 計量管理強調月間使用標語募集

㈳神奈川県計量協会では、第54回計量管理協調月間で使用する製造業及び流通業向けの標語を募集している。優秀作品提出者には、11月1日開催の計量フェアかながわ（そごう横浜店前）で、同協会加島会長から記念品と併せ表彰状を授与。締切は、2004年7月23日㈮。

## 計量管理研究部会臨時役員会及び全体会議の開催

計量管理研究部会は、04年5月20日㈭午後1時30分、神奈川計量検定所会議室で臨時役員会及び全体会議を開催する。

平成16年度事業及び役員改選について協議。新部会長選出の予定。

懇親会あり。

## 計量機器工業部会全体会議の開催

計量機器工業部会は、04年7月6日㈫午後2時、検定所会議室で、全体会議を開催する。

平成16年度事業の協議及び体積計、質量計、タクシー・メーター、計器の各分科会会長から各分科会の現状と課題について発表。部会員全員による意見交換、部会員相互間の交流の促進を図る。

第二部として懇親会（会費3千円、横浜駅西口）も併せて開催する。

## 川崎市計量協会第53次通常総会開催

川崎市計量協会は、平成16年度の通常総会を次のとおり開催し、事務事業・収支決算報告、事業・収支計画（案）、役員の改選等を討議する予定。

▽日時：5月20日㈭、午後3時▽場所：㈱さいか屋川崎店

## 人事異動

4月1日付

神奈川県計量検定所＝▽指導部検査課長堀内敏男（指導部検定第一課長）▽指導部検定第一課長牧野幸司（指導部検査課長）▽指導部検定第一課技幹石渡修（指導部指導課技幹）▽指導部指導課副技幹加藤節夫（指導部検定第二課副技幹）▽指導部指導課副技幹幹宮村喜一郎（指導部検定第一課副技幹）▽指導部検定第一課副技幹武井弘行（指導部指導課副技幹）▽指導部検定第二課副技幹山田信博（指導部指導課副技幹）▽指導部検査課主査吉田達弘（指導部指導課主査）▽管理課主査石井真弓（統計課主査）【転出】清水禎志（経済局消費経済課消費生活係へ）（4月14日付）

川崎市計量検査所＝▽検査係主査田代兼一（経済局公営事業部業務課主査）▽普及係主任向迫武彦（新任）▽検査係角田典子（中原区役所保健福祉センター保健福祉サービス課）【転出】▽座間裕史（検査係主査、経済局中央卸売市場北部市場管理課主査へ）▽小山孝（普及係主任、経済局産業政策部誘致推進課主任へ）▽河野亜希子（普及係、宮前区役所区民生活部区民課へ）【退職】▽須賀孝司（普及係主任）

横須賀市消費生活センター＝▽経済部副部長商工・消費生活課長事務取扱桑名義則（健康福祉部参事障害福祉課長事務取扱）▽消費生活センター主任本多秀樹（経済部農林水産課主任）【転出】▽大坂茂夫（副部長、企画調整部へ）▽熊本幸一（主任、環境部環境管理課へ）

小田原市経済部産業政策課＝▽課長北村有一（収納課長）▽商業担当主査和田伸二（商業担当主査兼地場産業担当主査）【転出】▽清水清（課長、総務部財政課へ）▽井澤幸雄（課長補佐、総務部収納課へ）

大和市産業振興課商業観光担当＝▽市民経済部産業振興課商業観光担当課長補佐神山俊晴（渉外室基地対策課基地対策担当課長補佐）【転出】高橋久雄（市民経済部産業振興課商業観光担当課長補佐、保健福祉部介護保険課保険担当課長補佐へ）

平塚市商業観光課＝▽課長府川治行（商業担当長・上席課長代理）▽商業担当長松村秀昭（上席課長代理）【転出】柏樹秀機（商業観光課長、平塚市農業委員会事務局・局長へ）

厚木市消費生活センター＝▽所長高橋俊夫（農業政策課主幹兼農業政策係長）▽主幹伏見光義（福祉介護課主幹兼介護保険料係長）【転出】▽竹村勝彦（所長、学校管理課長へ）▽又村和久（主幹、睦合北公民館担当課長へ）

茅ヶ崎市産業振興課商工業振興担当・観光担当＝▽産業振興課長高木寛通（議会事務局主幹）▽産業振興課（観光担当）課長補佐青木修司（下水道部下水道総務課課長補佐）▽産業振興課（商工業振興担当）課長補佐金子陽一（保健福祉部健康づくり課課長補佐）▽産業振興課（産業雇用政策担当）担当主査栗原敏（企画部企画調整課主査）▽産業振興課主任岩井晶佳（環境部収集事務所主任）▽産業振興課主事補小西琢郎（新採用）【転出】▽小山明（商工労政課長、保健福祉部保険年金課長へ）▽若松信次（商工労政課（商工観光担当）課長補佐、財務部契約検査課課長補佐へ）▽金子登（商工労政課主査、保健福祉部健康づくり課担当主査へ）▽平野伸（商工労政課主査、総務部職員課主査へ）▽脇領義明（商工労政課主事、財務部納税課主事へ）【退職】▽池田哲夫（商工労政課（商工観光担当）主幹）（3月31日付）【組織改正】商工労政課商工観光担当から産業振興課商工業振興担当と産業振興課観光担当へ【メールアドレス】shoukou@city.higasaki.kanagawa.jp、sangyou@city.higasaki.kanagawa.jp へ

## 平成15年度県・特定市の立入検査実績

| | 項目 | 検査戸数 | 不適正戸数 | 同率(%) | 検査件数 | 不適正件数 | 同率(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 神奈川県 | 商品量目 | 77 | 4 | 5.2 | 4,974 | 26 | 0.5 |
| | 商品試買 | 30 | 6 | 20.0 | 437 | 25 | 5.7 |
| | 特定計量器 | 191 | 9 | 4.7 | 65,606 | 249 | 0.4 |
| | 合計 | 298 | 19 | 6.4 | 71,017 | 300 | 0.4 |
| 横浜市 | 商品量目 | 170 | 21 | 12.4 | 7,821 | 387 | 4.9 |
| | 商品試買 | 6 | 0 | 0.0 | 75 | 0 | 0.0 |
| | 特定計量器 | 250 | 29 | 11.6 | 116,408 | 166 | 0.1 |
| | 合計 | 426 | 50 | 11.7 | 124,304 | 553 | 0.4 |
| 川崎市 | 商品量目 | 145 | 19 | 13.1 | 3,711 | 142 | 3.8 |
| | 商品試買 | 41 | 10 | 24.4 | 274 | 21 | 7.7 |
| | 特定計量器 | 420 | 103 | 24.5 | 527,425 | 457 | 0.1 |
| | 合計 | 606 | 132 | 21.8 | 531,410 | 620 | 0.1 |
| 横須賀市 | 商品量目 | 22 | 2 | 9.1 | 1,085 | 16 | 1.5 |
| | 商品試買 | 52 | 12 | 23.1 | 140 | 14 | 10.0 |
| | 特定計量器 | 58 | 5 | 8.6 | 211,022 | 8 | 0.0 |
| | 合計 | 132 | 19 | 14.4 | 212,247 | 38 | 0.0 |
| 小田原市 | 商品量目 | 8 | 0 | 0.0 | 563 | 8 | 1.4 |
| | 商品試買 | 1 | 0 | 0.0 | 20 | 0 | 0.0 |
| | 特定計量器 | 27 | 2 | 7.4 | 7,822 | 6 | 0.1 |
| | 合計 | 36 | 2 | 5.6 | 8,405 | 14 | 0.2 |
| 大和市 | 商品量目 | 12 | 0 | 0.0 | 574 | 0 | 0.0 |
| | 商品試買 | 1 | 0 | 0.0 | 50 | 0 | 0.0 |
| | 特定計量器 | 23 | 0 | 0.0 | 5,866 | 0 | 0.0 |
| | 合計 | 36 | 0 | 0.0 | 6,490 | 0 | 0.0 |
| 平塚市 | 商品量目 | 15 | 1 | 6.7 | 881 | 1 | 0.1 |
| | 商品試買 | 1 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 0.0 |
| | 特定計量器 | 21 | 0 | 0.0 | 10,961 | 0 | 0.0 |
| | 合計 | 37 | 1 | 2.7 | 11,867 | 1 | 0.0 |
| 厚木市 | 商品量目 | 9 | 0 | 0.0 | 401 | 0 | 0.0 |
| | 商品試買 | 1 | 0 | 0.0 | 35 | 0 | 0.0 |
| | 特定計量器 | 21 | 0 | 0.0 | 3,805 | 0 | 0.0 |
| | 合計 | 31 | 0 | 0.0 | 4,241 | 0 | 0.0 |
| 相模原市 | 商品量目 | 8 | 1 | 12.5 | 492 | 4 | 0.8 |
| | 商品試買 | 1 | 0 | 0.0 | 55 | 0 | 0.0 |
| | 特定計量器 | 20 | 0 | 0.0 | 5,644 | 0 | 0.0 |
| | 合計 | 29 | 1 | 3.4 | 6,191 | 4 | 0.1 |
| 茅ヶ崎市 | 商品量目 | 19 | 1 | 5.3 | 907 | 9 | 1.0 |
| | 商品試買 | 1 | 0 | 0.0 | 8 | 0 | 0.0 |
| | 特定計量器 | 32 | 0 | 0.0 | 21,223 | 0 | 0.0 |
| | 合計 | 52 | 1 | 1.9 | 22,138 | 9 | 0.0 |

## 平成15年度定期検査実績

| | 区分 | | 検査戸数 | 検査個数 | 不合格個数 | 同率(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 神奈川県 | 集合場所 | | 2,274 | 6,994 | 35 | 0.5 |
| | 所在場所 | | 80 | 852 | 8 | 0.9 |
| | 計量士代検査 | 計量協会委託 | 600 | 1,472 | 40 | 2.7 |
| | | 上記を除く | 238 | 1,050 | 5 | 0.5 |
| | 合計 | | 3,192 | 10,368 | 88 | 0.8 |
| 横浜市 | 集合場所 | | 0 | 0 | 0 | |
| | 指定定期検査機関 | | 2,507 | 8,306 | 74 | 0.9 |
| | 計量士代検査 | 計量協会委託 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 上記を除く | 478 | 4,091 | 31 | 0.8 |
| | 合計 | | 2,985 | 12,397 | 105 | 0.8 |
| 川崎市 | 集合場所 | | | | | |
| | 所在場所 | | | | | |
| | 計量士代検査 | 計量協会委託 | 1,706 | 5,523 | 80 | 1.4 |
| | | 上記を除く | 81 | 955 | 0 | 0.0 |
| | 合計 | | 1,787 | 6,478 | 80 | 1.2 |
| 横須賀市 | 集合場所 | | | | | |
| | 所在場所 | | | | | |
| | 計量士代検査 | 計量協会委託 | 504 | 1,726 | 24 | 1.4 |
| | | 上記を除く | 74 | 306 | 8 | 2.6 |
| | 合計 | | 578 | 2,032 | 32 | 1.6 |
| 小田原市 | 集合場所 | | | | | |
| | 所在場所 | | | | | |
| | 計量士代検査 | 計量協会委託 | 459 | 1,799 | 19 | 1.1 |
| | | 上記を除く | 29 | 432 | 0 | 0.0 |
| | 合計 | | 488 | 2,231 | 19 | 0.9 |
| 大和市 | 集合場所 | | | | | |
| | 所在場所 | | | | | |
| | 計量士代検査 | 計量協会委託 | 187 | 809 | 9 | 1.1 |
| | | 上記を除く | 27 | 280 | 3 | 1.1 |
| | 合計 | | 214 | 1,089 | 12 | 1.1 |
| 平塚市 | 集合場所 | | | | | |
| | 所在場所 | | 14 | 36 | 1 | 2.8 |
| | 計量士代検査 | 計量協会委託 | 334 | 1,441 | 18 | 1.2 |
| | | 上記を除く | 12 | 125 | 1 | 0.8 |
| | 合計 | | 360 | 1,602 | 20 | 1.2 |
| 厚木市 | 集合場所 | | | | | |
| | 所在場所 | | | | | |
| | 計量士代検査 | 計量協会委託 | 201 | 519 | 20 | 3.9 |
| | | 上記を除く | 17 | 181 | 0 | 0.0 |
| | 合計 | | 218 | 700 | 20 | 2.9 |
| 茅ヶ崎市 | 集合場所 | | | | | |
| | 所在場所 | | | | | |
| | 計量士代検査 | 計量協会委託 | 219 | 1,031 | 38 | 3.7 |
| | | 上記を除く | 14 | 71 | 2 | 2.8 |
| | 合計 | | 233 | 1,102 | 40 | 3.6 |

## 平成15年度計量証明検査実績

| 種類 | 検査個数 | 不合格数 | 同率（%） |
|---|---|---|---|
| 手動式はかり | 41 | 0 | 0.0 |
| 電気式はかり | 48 | 0 | 0.0 |
| 大気濃度計 | 31 | 0 | 0.0 |
| pH計 | 17 | 0 | 0.0 |
| 騒音計 | 81 | 4 | 4.9 |
| 振動レベル計 | 56 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 274 | 4 | 1.5 |

## 平成15年度検定・基準器検査実績

| 種類 | 個数 | 前年度比 | 手数料（円） |
|---|---|---|---|
| 装置検査（タクシーメーター） | 14,999 | 414 | 10,499,300 |
| 質量計 | 125 | -15 | 608,740 |
| 積算熱量計 | 3 | -30 | 3,750 |
| 水道メーター | 19,945 | -76,508 | 1,605,780 |
| 温水メーター | 37 | 19 | 7,400 |
| 燃料油メーター | 3,135 | -1,907 | 6,401,750 |
| 液化石油ガスメーター | 62 | 52 | 396,800 |
| アネロイド型圧力計 | 355 | -19 | 37,350 |
| アネロイド型血圧計 | 211 | -249 | 31,650 |
| 基準器 | 1,464 | 452 | 3,531,130 |
| 合計 | 40,336 | -77,791 | 23,123,650 |

# 立入検査など

## 石油ガスメーター立入検査予定

神奈川県計量検定所は、石油ガスメーターの適正な計量取引を図るため、石油ガス販売店を対象に立入検査を6月上旬に15日間実施する。

▽地域＝愛川町・城山町・相模湖町・藤野町

## 環境計量証明事業者の立入検査

神奈川県は、環境計量証明事業者の登録後の実態を把握し、適正な計量証明事業の実施を確保するため、立入検査を実施。

▽期間＝5月17日から同28日までの9日間

▽実施地域＝横浜市、川崎市、小田原市、平塚市、藤沢市、海老名市、南足柄市

## 横浜市が商品量目立入検査実施

横浜市では、スーパー・ストア等への立入検査を、次の日程により実施中。

▽5月～8月

## 大和市立入検査予定

大和市では、6月末から7月中旬にかけ中元期における商品の正量取引を確保するため、スーパーストアを対象に生鮮食料品等の量目立入検査を実施する予定。

## 小田原市が計量器の定期検査を実施

小田原市が実施する定期検査は委託した㈳神奈川県計量協会所属の計量士が各事業所を巡回する。

▽検査の実施区域（主に市西部地区）＝緑、城山、扇町、十字、荻窪、谷津、池上、井細田、多古、府川、北ノ窪、穴部、穴部新田、久野、板橋、南板橋、風祭、入生田、水之尾、早川、石橋、米神、根府川、江之浦、栄町、中町、浜町、本町、城内、南町、寿町、東町

▽実施時期＝平成16年6月～11月

## 厚木市定期検査予定

厚木市では、6月から11月までの間、計量士が各戸を巡回して検査する代検査方式ではかりの検査を実施する。

## 相模原市がはかりの定期検査を実施

相模原市では、はかりの定期検査を㈳神奈川県計量協会に委託し、同協会所属の計量士が戸別に巡回方式により実施する。検査の実施時期は平成16年6月から12月。検査の実施区域は主に市北部地区で具体的には次のとおり。

橋本1丁目～8丁目、元橋本町、東橋本1丁目～4丁目、大山町、西橋本1丁目～5丁目、二本松1丁目～4丁目、相原1丁目～6丁目、橋本台1丁目～4丁目、田名塩田1丁目～4丁目、上溝1丁目～7丁目、小山1丁目～4丁目、南橋本1丁目～4丁目、横山台1丁目～2丁目、大字相原、大島、上九沢、下九沢、田名、上溝、小山

## 茅ヶ崎市定期検査を実施

茅ヶ崎市は、定期検査を実施している。

定期検査＝6月～11月

市南東部地域（茅ヶ崎、茅ヶ崎1丁目・2丁目、茅ヶ崎3丁目1・2・4・5番、本村1～5丁目、元町、若松町、幸町、新栄町、十間坂1～3丁目、共恵1・2丁目、南湖1～7丁目、中海岸1～4丁目、東海岸北1～5丁目、東海岸南1～6丁目、浜竹1～4丁目、出口町、ひばりが丘、旭が丘、美住町、松浪1・2丁目、常盤町、富士見町、平和町、松が丘1・2丁目、菱沼海岸、白浜町、浜須賀、緑が浜、汐見台）

特集神奈川は⑥面へつづきます。

## お知らせ

この特集は神奈川県計量協会の会報に代わるものとして、日本計量新報社のご協力を得て隔月発行し、全会員に配布しています。

㈳神奈川県計量協会
☎045―401―四四二〇

## わが街　横須賀

# SL形非常用貯水装置

横須賀は、歌、映画や小説等の舞台に取り上げられる機会も多いことから、全国的にも知名度は高く、横須賀市の一般的な事柄については比較的よく知られているようです。そこで今回の「わが街」では少し趣向を変え、横須賀市の大規模地震災害時等における飲料水確保対策、その中でも特に非常用貯水装置について取り上げます。

横須賀市は、三浦半島中央部に位置し、神奈川県内の水源から遠く、市内には大きな水源地がありません。もともと半島ゆえにトンネルが多く、災害時に市外とを結ぶ幹線道路が寸断されてしまうと陸の孤島になる危険性があります。そこで、約43万人市民の災害時の飲料水確保のため、非常用貯水装置を整備してきました。通常は地下に埋設し、普段は水道管の一部として水が循環していますが、大規模地震時には緊急遮断弁がおり、近くの水道管が破損しても内部の飲料水を汚染から防ぐ構造になっています。

設置の一例として、三笠公園の例を挙げます。横須賀市の中心部から程近い稲岡町に、三笠公園があります。

この公園は、日露戦争の折、日本がロシアのバルチック艦隊を相手に戦った日本海海戦において、東郷平八郎元帥が旗艦とした記念艦三笠が保存、展示されていることに加え、最近では音楽に合わせ舞う噴水があることでも有名です。

園内に入ると、東郷平八郎元帥の銅像や記念艦三笠が威容を誇り、観光客の注目を集めていますが、D51型蒸気機関車が設置されているのにもお気づきになると思います。この公園では場所柄SLの偽装をしていますが、これが実は横須賀市上下水道局が設置した非常用貯水装置（100トンタンク）なのです。三笠公園周辺一体は51ヵ所指定されている市の広域避難地のうちの一つであり、この装置は市内に44基あるうちの一基というわけです。

横須賀を訪れる機会がありましたら、三笠公園へも足を伸ばしていただき、SL形の非常用貯水装置にも目を留めていただければ幸いです。

## リレーエッセー

# 計量機器工業部会からのメッセージ
## ――新生協会の輪の拡がりを願って

計量機器工業部会副部会長
三和矢崎サービス㈱代表取締役社長　轟　淳次

某日午後3時28分、携帯電話が、突然、鳴った。専務理事からであった。「ご多忙のところ恐縮ですが、新報・リレーエッセーに寄稿して頂きたい」旨の内容であった。翌日、詳細な要請がEメールに入っていた。原稿締め切りは、5月7日とのこと。実のところ私のスケジュールは立て込んでいるのである。「4月開催された。

新生協会の工業部会の役員会として成果が期待された。平成16年度事業について、種々協議していくなかで工業部会として同業者の集まりと言いながら「質量計、体積計、タクシー・メーター、計器」の各分科会というまさに異業種の集団であることから、それぞれの分野に話が及ぶとお互いが不明なことが余りにも多いことに唖然とする始末。工業部会の中でさえこうなのだから他の部会のことに関しては、推して知るべしであり、実情は、どうなのかと疑念が生じる。

これでは、新生協会の中枢を担うという気負いがある我々工業部会として首肯できないとの思いから、岸部会長の強いリーダー・シップの基、来る7月6日㈫の当部会全体会議終了後、第二部として先述の各分科会の会長が責任者となって「分科会の現状と課題」についてレポートし、部会員参加者全員による意見交換、情報交換を行うことで相互交流を深め、真の部会発展、更には協会の中枢機能を担うことの一助にしたいとの合意に達した。その成果は、未知数かも知れないが、今までにない取り組みを進めることで新生協会の新たな礎、着実な第一歩を踏み出すことが出来れば望外の幸せでさえある。

また、先般、工業部会の伝統行事でもあった鎌倉散策について協会事業としての採択を提案させて頂いたところ加島会長の快諾も得て当協会の「教養研修講座」と位置づけ「春の鎌倉歴史巡り」として開催されたところである。案内者の造詣の深さも効を奏し、通常の観光ベースでは体験出来ない大変貴重な鎌倉の歴史、中世日本の歴史の一端を垣間見ることが出来たことは、誠に意義あるものであった。来年は、更に多くの参加者があることを心から願っている。

運行システムの立ち上げ」、「大型連休は海外視察」といった具合である。

しかし、私の個人的な立場よりも協会幹部役員として、更には、工業部会の立場を配慮して拙文を寄稿をすることとしたところである。

去る4月8日㈭岸昭部会長の下、「平成16年度第一回工業部会役員会」が

# 計測技術から品質工学へ（76）

東京電機大学客員教授　矢野　宏

## 62先端加工機械技術振興協会の品質工学

この協会の「解析評価的計測検査による生産加工システムに関する調査研究」のプロジェクトに参加したのは、1986年でした。計量研究所の中で計測システムの在り方を研究しているということが原動力だったと思います。このプロジェクトは通産省の産業機械課に関わるもので、もと東北大学の金子秀夫先生を委員長としていました。私は計測技術が予測に関わること、経済的な成果が重要であることを主張しました。

この考え方が従来の計量研究所の計測技術とは異なるということで新鮮に感じて面白がってくれたのが、同協会の小野公専務でした。そこで私は当時、岐阜で進行しているセラミックスのメーカーと成形の共同研究を行なおうということを言い、この提案が受け入れられて、1989年より「次世代生産システムにおける品質設計システムの調査研究分科会」というのが作られました。

すでにこれまで関わりのあった㈱東芝生産技術研究所の橋本政弘さんが呼びかけ人となって、10社のうち、東芝、電気化学、東ソー、東レ、住友重機械工業が参加してくれました。

参加の条件は、補助金の研究であるから成果は公開されるが、個々の研究計画は私と各社が個別に相談し、ノウハウが流れないようにし、データーの解析はすべて計量研究所で行なうというものでした。もちろん当時の品質工学の研究レベルは今ほど進んでいませんでしたが、測るべき計測技術、SN比の求め方についてかなり討論をしました。

いくつかの企業の現場の見学を行い、おぼろげながら実態が分かるのですが、すべて経験主義的な技術開発です。品質工学の立場では当然のことですが、当時一流のセラミックスメーカーの採用している条件がほとんど最適条件ではないということが印象的でした。いかに効率の悪い研究を行なっているかということです。

このプロジェクトの特徴は、詳しい研究報告書が作られたことです。したがって、研究成果のみでなく、品質工学に関わる外部の成果も取込み、最終的な討論の内容も詳しくまとめていることです。実によく討論しました。同協会の強い支援があったからこそです。

1989年からは「新素材加工における品質設計システムの調査研究」というタイトルで独立し、1991年まで続きます。これが1993年の品質工学フォーラム設立の陰の原動力になったことが分かります。

▽ファインセラミックスと新素材の成形加工（1989）：㈱長瀬鉄工所、㈱東濃セラミック、電気化学工業㈱、東レ㈱、山城精機㈱、東ソー㈱、川崎重工業㈱、三菱瓦斯化学㈱、住友化学工業㈱、日立金属㈱、東陶機器㈱、松下電工㈱▽高分子・複合材料の成形（1990）：アイシーアイジャパン㈱、群馬県工業試験場、三菱瓦斯化学㈱、山城精機㈱、呉羽合繊㈱▽ファインセラミックスの加工（1990）：住友化学工業㈱、東陶機器㈱、電気化学工業㈱、鈴木自動車㈱、アマダワシノ㈱、ヤマザキマザック㈱▽溶射と金属加工（1990）：岐阜県金属試験場、姫路工業大学、滋賀県立機械金属工業指導所、㈱アマダ▽接合など特殊加工（1991）：日産自動車㈱、山武ハネウエル㈱、岐阜県金属試験場▽電気加工とドリル加工（1991）：東芝タンガロイ㈱、㈱アマダ、宮城教育大学、スズキ㈱▽各種素材の研削加工と成形加工（1991）：㈱ナガセインテグレックス、富士ゼロックス㈱、東陶機器㈱、日立金属㈱、㈱山城精機、群馬県工業試験場

以上改めて振返ると、何時の間にか、計量研究所の枠組を越えてしまったことが分かります。

1991年は筆者がすでに宮城教育大学へ移ったときですが、この後計量研究所の中で、品質工学が消えて行ったのも、このような経過をたどれば止むを得ないことかも知れません。計測技術から品質工学へという流れの中では、本来果たすべき計測技術の役割を、研究所の中では実現できなかったということです。しかし、品質工学は新しい多次元計測技術です。これを何等かの形で生かさなければなりません。

1992年は「品質工学による新素材の加工とその事例の体系化」というプロジェクトでは誰でも考えることですが、以上のような成果を体系化して、ソフトウエアとして利用できないかということです。これは2つの面で困難がありました。仮にソフトウエアを作ったとして、さらに品質工学の著しい発展です。

（文章構成・阿知波正之）

世界を拓くヤマヨの巻尺
YAMAYO
ヤマヨ測定機株式会社

ロードセルの全て
キャス
S・C・A・L・E
http://www.cas.co.kr
TEL:+82-2-2225-3534　FAX:+82-2-475-4668

特集神奈川つづき

## 神奈川県・特定市計量連絡協議会開催

神奈川県と特定市9市は、計量法第155条に基づく標記会議を、次のとおり開催した。

▽日時＝平成16年4月19日㈪午後1時30分から同5時まで

▽場所＝神奈川県計量検定所会議室

▽出席者＝県及び特定市関係職員23名

▽協議事項＝(1)平成15年度立入検査実績及び定期検査成績ついて(2)平成16年度立入検査計画及び定期検査計画ついて(3)県・特定市共催事業

## 県市町村計量事務打合せ会

神奈川県は、4月21日㈬、神奈川県計量検定所において、特定市を除く県内市町村の計量担当者の出席を得て、平成16年度県市町村計量事務打合せ会を開催した。内容は次のとおり。

1、平成15年度の事業報告

2、平成16年度の事業計画

3、その他

## 神奈川県・特定市同一企画による商品試買

神奈川県・特定市は同一企画による商品（乾めん）試買実施した結果、各県・特定市別検査成績は表のとおり。製造メーカー別では合計60社、超過が2社、不足は0。

| | 検査個数 | 超過個数 | 正量個数 | 不足個数 |
|---|---|---|---|---|
| 県 | 205 | 4 | 201 | 0 |
| 横浜市 | 50 | 0 | 50 | 0 |
| 川崎市 | 30 | 0 | 30 | 0 |
| 横須賀市 | 40 | 0 | 40 | 0 |
| 小田原市 | 20 | 0 | 20 | 0 |
| 大和市 | 50 | 0 | 50 | 0 |
| 平塚市 | 25 | 2 | 23 | 0 |
| 厚木市 | 35 | 0 | 35 | 0 |
| 相模原市 | 55 | 0 | 55 | 0 |
| 茅ヶ崎市 | 80 | 0 | 80 | 0 |
| 計 | 590 | 6 | 584 | 0 |

## 平塚市ガソリンスタンドへ立入

平塚市では、市内主要幹線沿いのガソリンスタンドへの立入検査を実施した。結果は次のとおり。

▽実施日＝4月22日㈭

▽検査戸数＝8戸

▽不適正戸数＝0戸

▽検査件数＝85件

▽不適正件数＝0件

## 登録と指定

【登録】

◇計量証明事業

［質量］日本油脂㈱（川崎市川崎区）、㈲青木商店（平塚市）

［環境（濃度）］アムコン㈱（横浜市港北区）、日本油化工業㈱（横浜市戸塚区）

［環境（濃度・音圧・振動）］東エン㈱（相模原市）

◇計量士

［環境（濃度）］佐々木慎（富士写真フイルム㈱）、森高行（東京濾器㈱）、亀田洋（㈶日本環境衛生センター）

## 神奈川県計量検定所

## 計量管理実施報告書提出のお願い

神奈川県は、県内事業所の計量管理の推進を図るため、今年も特定市及び㈳神奈川県計量協会との共催により、11月1日の計量記念日を中心に第54回計量管理強調月間運動を展開することになりました。

つきましては、その運動の一環として事業所にらせとともにご協力の程お願いいたします。

なお、提出先及び締切日等詳細については、通知文をご覧ください。

事業所）に対して「計量管理実施報告書」の提出を求めましたので、お知

事業所における計量管理の実施状況を把握するため、県内事業者194社（423